

ぼくの夢・私の夢



中沖小学校5年
末野 愛 季

看護師になるために

小学校一年のとき、右の耳の下に膿がたまり、病院に行ったことがありません。病院で、その膿を注射で取り出すことになりました。当時の私は注射というだけでもこわかったので、膿を取り出す時は痛くないかと、とても心配で泣いていました。

そんな時、とてもやさしくしてくれた人がいます。その病院の看護師さんです。看護師さんは、私に笑顔で話しかけてくれ、そのおかげで、こわい気持ちも少し消えました。実際に膿を取り出すときも、お医者さんの横で一

けん命働いている看護師さんを見て、「私もこわがらずにがんばろう。」と勇気づけられました。

私はそれ以来、看護師になりたいという夢をもつようになったのです。いろいろな病気で悩んでいる人、苦しんでいる人を助け、少しでも多くの人に元気になってもらうために、精一ぱいがんばる看護師になりたいと思います。看護師になるためには、たくさん勉強も必要ですが、今の私にできることは「心の勉強」だと思っています。どんな人に対しても優しい気持ちで接したり、周りで困っている人を見つけて声をかけたりし、看護師への道を一步一步進んでいきたいと思います。

小さな命を守る仕事

私の将来の夢は、獣医になることです。きっかけは一冊の本でした。動物の命を救うために、けん命に手術に挑む獣医さんの話を読み、もともと動物

好きだった私は、獣医への夢を持つようになりしました。

私の家では、犬と猫を飼っています。昔から飼っていたオス猫は、不慮の事故で死んでしまいました。そのときに初めて獣医さんを見ましたが、その獣医さんはレントゲンをとったり、猫の様態を説明したりと、一生けん命してくれました。結果的には死んでしまいました。私が、私は精一杯取り組む獣医さんの姿が目には焼き付いて離れませんでした。たとえどんな小さな命でも、守ってあげたい。そんな気持ちがさらに強くなりました。

私は、動物が事故で死んでしまうという悲しい場面をよく目にします。人間中心の世の中で、たくさん動物たちがぎせいになっています。私が、獣医になったら、そのような事故から動物たちを守り、できるだけ多くの命を救っていききたいと思います。そして動物の命も人の命も大切だということを、みんなに伝えていきたいと思います。あなたの夢はなんですか。



中沖小学校5年
福島 萌

編集後記

ふと耳を澄ますと、足元から様々な音色・音調で自己主張する虫たちのメロデーが聞こえる。木々に目を向けると一枚一枚の木葉も様々な色で個々を主張する季節。まさに9月議会での町執行部と議員、議員と議員の論戦を思い出す。目的は同じ「よりよい町民の福祉」を願いながら手法や視点の違いにより多くの議論がなされた。議会報109号では、議会の全てを報じることは紙面の都合で不可能ですが、議会の様子を多くの町民に知っていただけるよう編集いたしました。また、議会傍聴(本会議・委員会)は簡単にできる町民参加の第一歩であり、行使した一票への責任の取り方でもあります。互いの責任を全うできる町民でありたい。

広報編集委員 中山 美幸

発行責任者 大崎町議会議長

阿野 二郎